

阪堺電車活性化フォーラム 宣言

阪堺線(堺市内区間)の存廃が堺市の支援策案に基づき協議されています。この9月末には事業者である阪堺電気軌道(株)が存廃の経営判断を行う予定です。

私たちは、公共交通は事業の収支だけで存廃を論議するのではなく、市民や利用者のための社会資本として、その地域に果たす役割を評価すべきであると考えております。

また、国レベルにおいても人の移動する権利を保障する「交通基本法」制定に向けての論議が継続しております。エネルギー問題、環境問題、急速な高齢化社会の到来などの社会情勢ばかりでなく、障がいのある方にとっても、今後、公共交通の役割はますます重要なものとなると考えております。

阪堺線は堺市民だけでなく大阪市民やこの地域を訪れる人々、そして今後の両市の「まちづくり」にとっても欠くことのできない私たちの資産です。本日、そんな想いをこめ、堺や大阪で様々な活動をされる人々が集い、「阪堺電車活性化フォーラム」を開催いたしました。

人と環境にやさしい路面電車の再生、鉄道やバス、自転車との連携を図りながら、公共交通を軸としたまちづくりを目指し、以下を宣言いたします。

- 1 阪堺線沿線住民、事業者、行政が力をあわせて、活力と魅力のある21世紀の都市づくりに向けて、阪堺電車を活かしたまちづくりを推進します。
- 2 人と環境にやさしい交通手段である阪堺電車の活用を推進します。
- 3 上記課題達成に向け、沿線住民の連携活動を継続します。

2010年8月28日

阪堺電車活性化フォーラム参加者一同